

近畿学校保健学会通信

No.83

平成8年2月1日発行
近畿学校保健学会事務所
〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部健康学研究室内
TEL 0775-37-7795, 7726
振替口座 01060-1-77589

第43回 近畿学校保健学会開催の御案内

第43回近畿学校保健学会

学会長 色 玄

大阪市立大学・小児科学教授

このたび私たちが第43回近畿学校保健学会をお世話させていただくことになりました。不慣れではありますが会員の皆様方の暖かいご支援とご協力を賜りまして、有意義な大会にいたすべき努力したいと思います。

今年度の第43回近畿学校保健学会は来る平成8年6月⁸18日(土)、大阪市住吉区にあります大阪市立大学を会場として開催させていただきます。会場は、天王寺駅よりJR阪和線にて約12分の杉本町駅の駅前にあり、地理的にも非常にわかりやすい所と考えます。

本年度の学会では一般口演に加えて特別講演とシンポジウムを企画しました。

まず、特別講演としましては、学校の現場で急増しています心理的問題の重要性をふまえて、自身カウンセラーとしても活躍されている倉戸ヨシヤ先生（大阪市立大学生生活科学部臨床心理学講座教授、同学部の児童・家族相談所長）に「教育現場における心理問題」という題で講演をお願いしております。

また、近年の医療の進歩にともない、慢性疾患を持ちながらも学校生活をおくる児が増加しており、様々な管理基準等が作成されています。とはいえ、学校と医療現場の連携がまだまだ十分ではないと感じています。そこで、今回のシンポジウムでは「慢性疾患の管理を巡って～医療機関と学校の連携～」を計画しました。時間の制約もあり、慢性疾患として今回は学校でポピュラーに見られるアレルギー疾患、腎疾患、内分泌疾患（低身長・糖尿病など）をテーマに選びました。これらの疾患について、3人の専門家によりそのスクリーニングや管理における最近の問題点について述べていただき、その後、養護教諭や教員の立場からコメントをいただき、討論したいと思っています。コメンテーターには実際の学校保健に関わっておられる方を予定しておりますが、出来れば学会に参加いただいた方々にもお願いしたいと考えております。医療機関と学校の連携に関する何らかの成果を得たいと考えていますので、活発な議論がもたれることを期待しております。

さらに、一般口演では、狭義の「学校保健」とはならず、広義の「学校保健」の立場から、様々な分野の演題の申し込みをお待ちしております。

私たちは、このような医療・心理の現場から投げかけられたメッセージを受けて、多くの学校保健に関係する方々が活発にご討論いただき、十分に意見交流が行われますように願っております。私どもも、会運営に精一杯努力する所存でありますので、なにとぞ、多方面からの多数の参加をお願いしたいと存じます。

第43回近畿学校保健学会（平成8年度年次学会）開催要項

1. 学 会 長 大阪市立大学教授 一色 玄
2. 事 務 局 〒545 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
 大阪市立大学医学部 小児科学教室内
 第43回近畿学校保健学会事務局
 事務局長 松岡 収（大阪市立大学医学部講師）
 TEL 06-645-2126（FAX 06-646-5862）
 振替口座 00990-2-308841
3. 開催期日 平成8年6月8日(土)
4. 会 場 大阪市立大学（田中記念会館、講堂）
 〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138
 当日の連絡先：大阪市立大学生生活科学部発達保健学講座
 電話 06-605-2841（FAX 06-605-2840）
5. 日 程 受付：午前9時から午後3時
 午前：3会場にて一般演題発表
 昼休：評議員会
 午後：総会
 特別講演「教育における心理問題」
 倉戸ヨシヤ 先生（大阪市立大学生生活科学部臨床心理学教授）
 シンポジウム「慢性疾患の管理を巡って～医療機関と学校の連携～」
 懇親会
6. 参 加 費 正 会 員 3,000円
 （含資料費） 当 日 会 員 2,000円 当日学生会員 1,500円
7. 参加申込 学会員の有無に関係なく、また、近畿内外を問わず、当日の参加を歓迎します。
 返信用封筒（宛名および80円切手貼）を下記事務所宛に送付いただければ、5月
 下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」をお送り致します。
 なお、一般演題発表者は共同研究者を含めて正会員になる必要があります。
 会員でない方は、「近畿学校保健学会事務所」に入会手続きをして下さい。
 ※ 近畿学校保健学会事務所
 〒520 大津市平津2丁目8-1
 滋賀大学教育学部健康学研究室内
 TEL 0775-37-7795、7726
 振替口座 01060-1-77589
8. 一般演題申込 発表希望者は申込用紙に必要事項を記入の上、平成8年3月31日までに、第43回
 学会事務局宛に申し込んで下さい。折り返し講演集用オフセット印刷原稿用紙を
 お送りします。なお、原稿の締切は、4月30日です。
9. 懇 親 会 シンポジウム終了後、市立大学講堂にて予定しております。当日受付にてお申し
 込み下さい。会費は5,000円です。

特別講演およびシンポジウム

○ 特別講演について

【テーマ】 教育における心理問題

【趣 旨】 近年、学校現場における心理的な問題を訴える児は増加しており、不登校や拒食症だけでなく、最近はいじめがもとで自殺する児もあり、学校における心理カウンセリングの重要性が認識されています。また、今回の阪神・淡路大震災のような災害という大幅な環境変化でも心理的ケアの重要であることが改めて明らかにされました。今回、ご講演いただく倉戸ヨシヤ教授は臨床心理学講座の教授として、また、大学付属の研究機関である児童・家族相談所長として活躍されております。今回は、「教育における心理問題」について、豊かなご経験の中からご講演を頂きます。

【講 師】 大阪市立大学教授（生活科学部臨床心理学講座）倉戸ヨシヤ先生

【御略歴】 昭和34年に同志社大学文学部（心理学専攻）を卒業後、米国スプリングフィールド大学大学院心理学科ガイダンス専攻修士課程修了、マサチューセッツ大学教育学部大学院博士課程カウンセリング専攻修了。昭和50年に教育学博士（マサチューセッツ大学）、また、サンディエゴのゲシュタルト療法研究所より日本人として初めてディプロマを取得。マサチューセッツ大学助手、サンフランシスコ州立大学講師（兼カウンセリング・センター相談員）、イリノイ大学交換教授、甲南大学、鳴門教育大学各教授を歴任されて、現職の大阪市立大学教授に就任。

【学会活動など】 米国心理学会、日本心理学会など多くの学会に所属されて、ご活躍なさっていますが、中でも、日本臨床心理学会の理事、日本臨床心理士会の代議員なども歴任されております。また、「ゲシュタルト療法」に関する著書など数多くあります。専門家養成の大学院における後進の指導だけでなく、大学付属の児童家族相談所所長、大阪府教育センター専門相談員として、実際の相談にも多数携わっておられ、幅広く活躍されております。

○ シンポジウムについて

【テーマ】 慢性疾患の管理を巡って ～医療機関と学校の連携～

【趣 旨】 近年の医学の進歩とともに疾病構造が変わり、治療するというより管理していく慢性疾患が増えてきました。このような慢性疾患は、従来の制限多い学校生活から、最近では、むしろ、慢性疾患を持ちながらも有意義な学校生活（QOL）が重視されるようになってきました。そのためには医療機関と学校との連携が必要です。今回のシンポジストには、学校の現状や要望をふまえて話題提供をお願いしておりますが、疾患別の講演だけでなく、例えば、慢性疾患児の心理面や養護教諭、学校教員の観点など、学校保健の様々な立場でコメントを頂き、慢性疾患児の管理のあり方について考える機会としたいと思います。なお、シンポジストの先生には、特に、慢性疾患に経験豊かであり、しかも学校保健に見識ある、次の先生方をお願いしています。

アレルギー疾患（喘息を含む）堀内康生先生（大阪教育大学教授）

腎疾患

内分泌疾患（低身長、糖尿病など）藤田敬之助先生（大阪市総合医療センター

小児内科副部長）

近畿学校保健学会第1回幹事会

日 時 1995年10月7日(土) 14:00～
場 所 大阪市立大学医学部附属病院会議室
出席者 21名(上延、金井、山本、須藤、板持、瀬戸、松岡勇、後藤、林、
南条、一色、大山、上林、勝野、堀内、北村、石樽、八木、
横尾、美崎、武田)

議 題

1. 第43回近畿学校保健学会(大阪)の企画について

日 時 平成8年6月8日(土)
場 所 大阪市立大学(杉本学舎)
午前中 一般口演
午 後 特別講演 学校における心理的問題
シンポジウム 学校と医療機関の連携

2. 名誉会員の推挙

米田幸雄(京都女子大教授)72才
植村良雄(滋賀県教育委員会学校保健技師)70才

3. 次期学会(第44回)の開催地および会長

奈良県 山本公弘(奈良女子大学教授、保健管理センター所長)

4. その他

Dr. Roland Hauspie氏の講演会について

11月29日(木) 17:00～18:00 講演会 Biological aspects of Human Growth

18:00～20:00 懇親会

場 所 京大会館 幹事会のご参加を依頼 八木先生より発育発達部会(体育学会)の
共催の申し出があった。

5. H8、9年度役員選挙について

H6、7年度各府県代表幹事が選挙管理委員を構成する代表幹事会で選挙管理委員長に上延富久治教授を選出

1996年2月初旬に各府県幹事に名簿を発送する

1996年2月27日(火)15:00～ 大阪教育大学天王寺キャンパス第1回選管委員会

第43回 近畿学校保健学会演題申込み用紙

(1題1葉に記入のこと。※欄は記入しないこと。下記注意書き必読のこと。)

演題名	
発表者氏名 所属 (連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には*印)	
連絡先	TEL ()
住所 ㊞	
氏 名	
発表要旨 (100字ぐらいに) [キーワード]	
※受付番号 : _____ 原稿用紙発送 : _____ 月 _____ 日 :	演題番号 : _____ 発表時刻 : 午前 _____ 時 _____ 分 会 場 : A . B . C
申込み用紙不足の場合は、これと同じ様式のものをういて下さい。 記 1. 講演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。 2. 発表者は原則として会費を前納して下さい。 3. 演題名、発表者は氏名は演題申込み用紙に記入のものをプログラム、講演集にも使用します。 後刻の訂正には応じられませんので十分に検討の上、変更のないようお願いします。 4. 演題申込みはこの用紙 (または同様式) に必要事項を記入し、1996年3月31日(月)までに、 第43回学会事務局あてにお送り下さい。折返し講演集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。 申込み先 : 〒545 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 大阪市立大学医学部小児科学教室内 第43回近畿学校保健学会事務局	